

# 定 例 教 育 委 員 会【議 事 録】

日 時 令和6年8月9日(金)  
9時30分～

場 所 岡谷市役所6階 605会議室  
署名委員 小平教育委員、林教育委員

## 【 次 第 】

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 議 題

1. 令和7年度から使用する岡谷市立中学校の  
教科用図書の採択について【資料 No.1】 (非公開) (教育総務課)
2. 図書館ステップアップ事業について【資料 No.2】 (生涯学習課)
3. 子どもの体力と視力について【資料 No.3】 (教育総務課)

### ○ 報 告

1. 令和6年6月定例会の一般質問について【資料 No.4】 (各課)
2. いじめ根絶子ども会議Ⅲについて【資料 No.5】 (教育総務課)
3. 「涼みどころ おかやクールベース」の設置について【資料 No.6】 (各課)

### ○ そ の 他

- ・行事等について(各課)
- ・その他

### 出席委員

教育長 宮坂 享、教育長職務代理者 太田 博久、教育委員 小平 陽子、教育委員 林 慎太郎  
教育委員 轟 美緒

### 事務局(説明員)

教育部長 白上 淳、教育担当参事 両角 秀孝、教育総務課主幹指導主事 濱 敦志、  
生涯学習課長 白田 研一、スポーツ振興課長 小松 隆広、図書館長 小坂 英之、  
教育総務課学校教育主幹 味澤 勝一、教育総務課教育企画主幹 西山 塁、  
川岸学園整備室川岸学園整備主幹 新村 尚志、子ども教育相談センター主幹 長谷川 智康  
教育総務課主任 大島 俊輔

## <会議録>

### ○開 会

宮坂教育長： それでは、ただいまより令和6年8月定例教育委員会を始めます。本日の署名委員は小平教育委員と林教育委員にお願いいたします。私からの報告の前に、先日の南海トラフ地震臨時情報につきまして、事務局より報告をお願いします。

事務局（両角）： 報道の通りであります。昨日の16時43分に宮崎県にてマグニチュード7.1の地震が発生しました。これを受けまして、県より資料が公開されています。また気象庁から南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が、昨日の19時15分に発令されています。地震が発生した場合、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている34の市町村では震度6弱以上の揺れが想定されています。岡谷市も地震防災対策推進地域に含まれております。冷静な対応を心掛け、日頃から地震への備えをし、地震が発生したらすぐに非難ができるよう準備をお願いする内容となっており、避難場所や避難経路の確認、家族との安否確認方法の確保、家具の固定といった内容が含まれております。

これからの防災行動につきまして、気象庁から出される臨時情報には3種類あります。1番リスクが高いのは、巨大地震警戒となります。今回は巨大地震注意というレベルでした。今後1週間以内に大きな地震が発生するリスクが通常より高まっているため注意をしている状況です。気象庁からは1週間様子を見て、大きな地震が発生しなければ現在の状況は解消されるのですが、2週目以降も可能性がなくなったわけではありませんので注意が必要です。

岡谷市でも昨日災害対策本部が立ち上がりました。県と情報を共有しております。今後避難所が必要になる可能性を見据え、公共施設の点検を実施しておりますし、職員にも常に連絡が取れる体制でいるように指示しております。

太田教育長職務代理人： 学校は夏休み期間なので、基本的に生徒が登校することはないと思いますが、今回の件を受けて特別な対応はするのでしょうか。

事務局（両角）： 8月3日から8月18日の期間は完全閉庁日となっており、教職員も学校におりませんので特に対応はありませんが、市の防災メールやLINEなどで情報を周知し、ご家庭にも連絡をしている状況です。

### ○教育長報告

宮坂教育長： 続いて私から報告をします。

8月7日は立秋でした。暑さは続いているのですが、夜の風は少し涼しくなっていると感じています。ヒグラシが夕方から鳴き始め、夾竹桃や芙蓉が綺麗に咲いています。秋の気配も近づいていると感じています。

7月19日に1学期の終業式があり、8月20日まで夏休みとなっております。子どもの事故等の報告はありません。このまま夏休み最終日まで元気

宮坂教育長： に過ごして欲しいと思います。

7月24日にいじめ根絶子ども会議がありました。今年度は「いじめとからかい・いじりについて」を話し合いました。現状はどうか。いじりは必要なのか。加減や相手への思い、自分の感じ方、限度と友達との関係性についてを中心に話し合いが行われました。中学校区ごとに宣言文が作成され、それを見た会長さんから「子どもだけで話し合った今日の会議で勇気をもらった。僕と一緒に各校でもぜひ動いて欲しい」とまとめの話がありました。高校生も参加して、小中高が連携し岡谷市ならではの良い文化ができていると感じました。

7月23日には悉皆研修がありました。福井大学副学長の松木健一先生の講演がありました。専門職として、教師は生涯学び続ける人であって欲しいし、実践が無い学校では教師は育たないといった講演をしていただきました。松木先生の静かな口調から熱い思いが伝わってきました。また川岸学園構想についても触れながら、少子化と緊迫財政及び学び合う時代における新しい学校の3つの視点に関するお話も大変興味深い内容でした。

夏休みも早いもので3分の2が過ぎました。子どもたちは充実した休みを送っている様子です。7月27日にはNHKの合唱コンクールがあり市内から6校が参加し、3校は県大会に進みました。

小学生夏休みわくわくサマースクールで、小学5年生の未来塾を参観しました。5年生25名が参加し、指導してくださる方4名に加え、濱先生も加わり個別指導をしてくださり、子どもたちがとても良い顔で学習を進めていました。8月5日には美術考古館で切り絵のワークショップがありました。大変人気のある企画で1回目の8月2日には52名が参加しました。作品を私も見させていただきましたが、とても子どもらしい素晴らしい作品が数多くありました。期間限定ではありますが、美術考古館で展示をしておりますので是非足を運んでいただきたいと思います。

8月1日の図書館キッズ（1日図書館体験）も参観いたしました。中学生も参加していました。様々な催しに参加して、児童生徒が貴重な体験ができていることを大変ありがたく思います。夏休みに充実した体験を通して、一回り大きく成長することを心より期待しています。

続きまして、生涯学習課からは、8月1日、2日に開催された「夏休み子ども交流事業」について報告いたします。

東伊豆町との姉妹都市交流は、毎年交互に市と町を開催地として実施しておりましたが、コロナ禍での中断を経て、昨年度、4年ぶりに東伊豆町にて再開し、今年度は岡谷市での開催となりました。

宮坂教育長：

1日目のやまびこスケートの森アイスアリーナでのスケート体験や塩嶺野外活動センターでの野外炊飯、キャンプファイヤー、花火などで交流を深め、2日目の蚕糸博物館での見学などで岡谷市の歴史にも触れていただきました。子どもたちにとって、心に残る、夏休みの思い出の一つになったことと思います。

次に、美術考古館から、「考古の講演会」の開催についてご紹介します。8月25日14時から、岡谷市文化会館 カノラホール 小ホールで「高松塚古墳のいま むかし」と題して講演会を開催します。講師は岡谷東部中学校卒業生で、京都国立博物館保存科学室長の降幡 順子博士であります。

戦後最大の発見となり大きな注目を集めた高松塚古墳の極彩色壁画等の文化財保存の技術についてお話しいたします。

また、翌26日は、母校の岡谷東部中学校で全生徒を対象に、先生の仕事の内容や目指したきっかけなど、キャリア教育を踏まえた講演をいただく予定です。カノラホールでは、岡谷市出身の第一線で活躍する専門家の講演を聴講できますので、是非お気軽にお越しいただきたいと思います。

最後にスポーツ振興課から報告させていただきます。

今期からバレーボールのSVリーグに参戦する「VC長野トライデンツ」による小中学生バレーボール教室が、7月20日に岡谷市民総合体育館で開催され、市内バレーボール部などに所属する小中学生約100名が受講されました。毎年、バレーボールの普及や技術向上を目的に開催しているもので、当日は午前の部が男子、午後の部は女子を対象に、9名のトップアスリートから直接指導を受けました。

子どもたちは、丁寧な技術指導にしっかりと耳を傾け、トスやレシーブなどの基本動作を確認しながら、真剣に取り組んでおりました。

これからも、トップアスリートと直接触れ合う機会を大切に、子どもたちのスポーツに対する意欲や関心が、さらに高まることを期待しているところであります。

私からの報告は以上であります。それでは議題に進みます。

## ○議 題（非公開）

### 1 令和7年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書の採択について

宮坂教育長：

議題1「令和7年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書の採択について」ですが、教科書の採択につきましては、6市町村で採択が決定してから公開となりますので、本日は非公開とさせていただきます、後ほど議論したいと思います。よろしいでしょうか。

《承認》

宮坂教育長： それでは続いて議題2「図書館ステップアップ事業について」を事務局よりお願いします。

## ○議 題

### 2 図書館ステップアップ事業について

#### <資料2に基づき、事務局より説明>

小平教育委員： 既にご指導をいただいているとのことでありありがとうございます。今年になってから図書館に新しい風が吹いているように感じます。本の整理が必要ということは今まで本を大切にしてきた図書館の立場からすると、なかなか難しいところもあると思います。今回の様な客観的な意見がないと、なかなか本を整理することは難しいと感じましたが、図書館職員のお話を聞いていただけるアドバイザーがいてくれることで、職員のモチベーションも上がると思います。

塩尻のえんぱーくの評価が高いことは以前から聞いていましたが、特にどの部分が評価されているのか教えていただきたいです。

伊東アドバイザー： 評価点の1つとして、貸し出し冊数が増えています。県平均の2倍近い貸し出し冊数になっています。今までの図書館は貸し出し数を重視していました。貸し出し数を重視すると、ベストセラーの本を図書館におけば、貸し出し数は増えるというテクニックを使う図書館が多いです。そのため日本の図書館は文学の比率がとても大きいです。限られた予算の中で本を用意する必要があるので、文学系が多くなり、実用書系が少ない図書館になりがちです。そのため選書の際に方針を一新して実用書系を強化する方針にしたところ年々貸し出し数が増加しました。決して図書館が新しくなったから利用者が増えたのではないです。よりニーズに合った本を図書館に取り入れて、そういった取り組みを伝えるイベントを行っております。

太田教育長職務代理者： 私は岡谷の図書館は子どもたちを対象にして、工夫したイベントを実施していると思います。地域の図書館としてステップアップしていく際に、地域で学び続ける大人も来ていただけるような方向性も大切なのだと先生のお話を聞いて感じました。しかし今は何か調べたいことがあったらすぐにネットで検索する時代です。私は紙の本も好きですが、ネット検索との関係性についてはどう考えていけば良いのでしょうか。

伊東アドバイザー： 少なくともデジタル情報は今後も増え続けると思いますが、短期的な視点で見れば、紙の本が無くなるとは思っておりません。500年、1000年先は分かりませんが、デジタル媒体と出版物にはそれぞれ良さがあ

**伊東アドバイザー：**　り、両方を掛け合わせる活用ができる場を作る必要性を感じています。デジタル媒体は、例えば遠方で図書館を利用できない方にはとても有効ですし、活用すべきと思います。

ネット調べれば良いという考えは、図書館員がよくぶつかる壁です。しかし、ネット情報には信憑性が低いものも多く紛れていますので、正しい情報を見極めるリテラシーが必要です。住民の皆さんがそういったリテラシーを持てる社会になれば、デジタル情報はとても重要だと思います。また、正しく情報を理解できるようにPRすることも図書館の仕事だと感じています。ただし図書館はこの本が良いですよ、といった選書はしません。様々な意見を提示して、どちらが正しいと思うか、判断するのは市民であるというのが図書館の考えです。

**轟教育委員：**　私もえんぱ一くを数回利用したことがあります。とても好きな図書館です。利用者が多い理由の1つに立地条件もあると感じています。私も利用した時は、電車の待ち時間に行ってみたら、とてもゆとりのある空間でした。これは建設する際にイメージして作られたのでしょうか。

**伊東アドバイザー：**　交流の場としても利用したい気持ちがありました。また、20年前の図書館は本を借りたら帰る場所でしたが、今は滞在できる場所になっています。極端な話かもしれませんが、学校に行きたくない子どもが家に引きこもるのではなく、図書館に来てもらえるような使い方も大切だと思います。

**林教育委員：**　全市民が常に図書館を利用することは難しいと思います。今回の事業で利用者を増やすことがステップアップにつながるのでしょうか。それとも利用している人が、より利便性を感じられるものがステップアップにつながるのでしょうか。今回の事業で重点を置いている部分はどこでしょうか。

**伊東アドバイザー：**　目標を言うのでしたら、利用者数を増やすことになります。市民の10%程度が利用をしています、本を静かに読む環境として図書館を求めている人数は既に上限に達していると思います。日本中の図書館がそうだと思います。図書館を利用していない方々が、どんな情報を求めているかを調べて図書館に反映していくことが必要だと思います。

**林教育委員：**　今までのご経験の中で、市民の皆さんへの有効な告知方法はあるのでしょうか。

**伊東アドバイザー：**　そもそも図書館からの通知を見ようとしない方もいらっしゃると思いますので、非常に難しい課題だと思います。しかし、公共施設の中では利用者数の多い施設とも思っております。利用者が家族に紹介してくれれば

伊東アドバイザー： 利用者が増えるきっかけになるかもしれませんし、SNS等で楽しい空間であると利用者が発信したくなるような取り組みも大切だと思います。

あとはマスコミの方の力も大きいので、マスコミの方が飛びつくような取り組みをすることも大切だと思います。

宮坂教育長： 貴重なご意見ありがとうございます。地域力アップという点からも、魅力ある図書館にするための検討が大切だと感じました。私も夏休みに数回、図書館を利用しておりますが、居心地が良かったです。さらに魅力ある図書館を一緒につくっていきたいと思います。

続きまして議題3「子どもの体力と視力について」を事務局よりお願いします。

### 3 子どもの体力と視力について

#### <資料3に基づき、事務局より説明>

林教育委員： 体力や視力が悪くなっている子どもが多くなっている中で、タブレットの利用なども関係があると思います。私が子どもの時に目の体操がありました。そのお陰か分かりませんが今も私の視力は良いのですが、視力が落ちないように何か対策はあるのでしょうか。例えばブルーライトをカットする設備を取り入れるといった予定はあるのでしょうか。

事務局（濱）： 学校を訪問しても、目の体操をやっている様子はありません。タブレット端末を授業で利用する際は30cm以上離れて見るようにして、30分に1回は画面から目を離して目を休ませるように、文部科学省からガイドラインが示されています。学校ではそれらを念頭に置きながら指導に当たっています。

林教育委員： 眼科の先生も言っていたのですが、目の体操はとても良いので可能なら学校でやる機会を設けても良いと思います。また、強い日差しの際のサングラスの着用も今後は検討する必要があると感じました。

事務局（両角）： まずは問題意識をもって校長会で情報共有をし、対処療法として何ができるのかを検討した後に行動に移すことが大切だと思います。体力低下は体育授業時の怪我にもつながります。学校訪問をすると、昔に比べて眼鏡をかけている子どもが増えていると感じます。学校や家庭で、どのように目を守り、体力を向上させるか、情報を共有しながら取り組む必要があると思います。

太田教育長職務代理者： やはり体力は大切であると常日頃から感じております。若い時はあまり気にならないとは思いますが、将来に影響していくことを学校でも子ども

**太田教育長職務代理者：** たちに伝えて欲しいと思います。喫煙については体への影響をしっかりと伝えているので、若者の喫煙率の低下につながっていると感じています。結果を伴っている事例だと思いますので、視力や体力も学校での伝え方次第で改善は可能だと思います。

**小平教育委員：** 体力は上昇傾向にあるので一旦は大丈夫だと思いますが、視力の低下につきまして、大きな変化に正直驚きました。目の体操といった対処を復活しても良いと私も感じました。目を大切にするという意識を持ってもらえば、結果につながると思います。

**轟教育委員：** 体力が下がっている時期は、ちょうどコロナが流行った時なので、コロナの影響は大きいと思いますが、コロナだけが原因では無いと感じています。体力測定項目すべてが低下しているのでしょうか。また、体力増進のための対策は学校で行われているのでしょうか。

**事務局（両角）：** 進学する関係で、毎年子どもが入れ替わります。平均値を見ると減少傾向にあると認識しています。体力増進につながる取り組みは、まさに体育の授業が挙げられます。コロナの時期は体育の内容に制限がありましたが、通常の体育授業ができれば、体力の向上にはつながると思います。また学校ごとに独自の取り組みをやっている学校もあります。例えばマラソンをやったりしている学校もあります。

**轟教育委員：** 先日スポーツボルダリングという競技を知りました。新たなスポーツが増える中で、そういったものを取り入れながら体力増進につながれば嬉しく思います。

**事務局（両角）：** ニーズに合った環境整備を進めております。メジャーなバスケットボール場以外にもボルダリングのエリアがあるのも1つの案として面白いと思います。

**事務局（小松）：** 岡谷市ではニュースポーツフェスティバルを実施しています。こういったスポーツがあることを知り、体を動かしていただくことを目的にしています。他市ですがボルダリングの設備がある体育館もありますので、研究をしたいと思います。

**宮坂教育長：** ニュースポーツの中には保護者同士がふれあえるスポーツもあり、とても楽しめる内容だと感じました。体力と視力については今後も注視をします。

続いて報告事項1「令和6年6月定例会の一般質問について」を事務局よりお願いします。

## ○報 告

### 1 令和6年6月定例会の一般質問について

＜資料4に基づき、事務局より説明＞

宮坂教育長：            ありがとうございました。

続きまして、報告事項2「いじめ根絶子ども会議Ⅲについて」を事務局より説明をお願いします。

### 2 いじめ根絶子ども会議Ⅲについて

＜資料5に基づき、事務局より説明＞

太田教育長職務代理者：   私も当日参加させていただきました。高校生も参加しておりとても素晴らしい話し合いの場になっていました。ディスカッションは中学生が仕切っていましたが、高校生がうまくリードしている姿を見ることができました。また、いじめに関してはこういった場を設けることが大切だと感じました。一方的に「いじめは駄目」と言われるよりも、自分で考え、他の人の意見を聞くことはとても大切なことだと思います。今後も継続していただきたいと思います。

小平教育委員：           とても大事なテーマを考える会議だったと思います。大人でもこのテーマを回答することは難しいと思いますし、感じ方は人それぞれであることを子どもたちが学べたのでとても有意義な会議だと思います。会議の内容を学校に持ち帰っていただき、他の子どもにも伝えることで、良い流れができると感じました。

轟教育委員：           いじめの問題はとても難しい問題で、終わりはないという印象を持っています。いじめの形も時代によって変わっていくと感じていますが、中学生のメッセージ文を見ると、とても理解度が深まっていると感じます。大人もいじめがない、という前提ではなく、常に起こりうるという認識を持たなければならないと思いました。

宮坂教育長：           続きまして報告事項3「「涼みどころ おかやクールベース」の設置について」を事務局よりお願いします。

### 3 「涼みどころ おかやクールベース」の設置について

＜資料6に基づき、事務局より説明＞

太田教育長職務代理者： 市民の方への告知はどのようにされているのでしょうか。

事務局（白田）： 市長の記者会見の後、報道機関から周知をしております。またホームページに掲載をしております。

宮坂教育長： ありがとうございました。それでは次に「その他」を事務局よりお願いします。

## ○その他

### ・行事等について（各課）

#### <各課より行事予定について説明>

宮坂教育長： ありがとうございます。

その他連絡事項等ありますでしょうか。

今までのところで何かご意見等はございますか。

本日予定しました議題は以上ですが、全体を通して何か質問等ございますか。

教育委員さんから何か報告事項等ございますか。

それでは事務局より次回の開催予定についてお願いいたします。

事務局（両角）： 次回の定例教育委員会は

9月6日（金）9時30分から岡谷美術考古館を予定しています。

よろしくお願いいたします。

宮坂教育長： ありがとうございました。

続きまして非公開の議題に進みます。

## ○議題（非公開）

### 1 令和7年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書の採択について

#### <資料1に基づき、事務局より説明>

#### <承認>

11時30分 終了

岡谷市教育委員会会議規則第20条により署名する。

令和 6 年 9 月 6 日

教 育 長

宮取 享

署 名 委 員

小 平 陽 子

署 名 委 員

林 慎太郎

調 製 職 員

白 上 淳